

■ 人材育成に関するアンケート(R6年度実施)

(目 的) 実態に即した人材育成とそのめざすべき方向性を検討するにあたり、大阪府における人材育成の課題を把握することを目的とする。

(対象者) 課長級以下の職員 (教員・警察職員・非常勤職員・他団体への派遣職員等府本体に在職していない職員を除く)

(回答率) 約57% (課長級77% ・ 課長補佐級64% ・ 主査級59% ・ 主事・技師級51%)

アンケート結果(概要)

① OJTについて

- ▶ 職種に関わらず、「指導役を担う人材不足」や「人材育成に対する物理的・精神的余裕のなさ」が共通の課題
- ▶ 本庁においては、出先機関に比べて、以下の項目について、課題意識がより高い傾向が見受けられた
 - ・「業務の属人化が多く、ノウハウ等を共有する仕組みが構築されていない」
 - ・「職場内に育てる文化が根付いていない」
- ▶ 出先機関においては、本庁に比べて、以下の項目について、課題意識がより高い傾向が見受けられた
 - ・「ジェネレーションギャップによる戸惑いや隔たりを感じる」

② スキルの習得度について ※部下職員の各スキルの習熟度について、マネジメント層を対象にアンケート

- ◆「職務遂行能力のうち汎用スキル(多くの職場・職種に共通するスキル)」
 - ▷ 職階に関わらず、「法的思考力」の習熟度向上が課題
 - ▷ 会計事務や文書事務の基礎知識については、時間効率を優先し、目的や本質を理解しないまま答えだけを求める傾向が見受けられる。
- ◆「コンセプチュアルスキル(概念化能力)」
 - ▷ 「物事を多角的な視点からとらえるスキル」の習熟度向上が、課題 (クリエイティブシンキング、クリティカルシンキング、多面的視野)
- ◆「ヒューマンスキル(対人関係能力)」
 - ▷ 「自らの考えを相手にわかりやすく伝え、理解を得るためのスキル」の習熟度向上が、課題 (コーチング、プレゼンテーション力、交渉力)
- ◆「マネジメントスキル」
 - ▷ 主事・技師級において、「目標を設定する能力」の習熟度向上が、課題

※ アンケート実施にあたっては、以下のとおり設定

*コンセプチュアルスキル・・・ ロジカルシンキング、クリエイティブシンキング、クリティカルシンキング、多面的視野、柔軟性、受容性、俯瞰力、探求心

*ヒューマンスキル …………… 交渉力、ヒアリング力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、リーダーシップ、コーチング力

*マネジメントスキル ……… 問題解決能力、目標設定能力、組織化する能力、評価測定能力

* 職員からの研修ニーズ(例)

- プレゼンテーション力(資料作成・説明力) に関連するもの
- 属人化解消、ノウハウ共有 に関連するもの
- 業務改善や効率化につながる、DXやPCスキル(Word、Excel、PowerPoint等) に関するもの など